

歳入

（町の収入）



未来にはばたく白鷹

税源移譲による財政への影響は

質疑

財政面では減収

議員 当町にとって税源移譲や定率減税の廃止は、税制面でプラスにならないと思いがちですが、いかがですか。

当局 18、19年度の比較では、所得の減なども影響し全体として約1600万円の減となりました。地方分権としての権限が大きくなったメリットもありますが、徴収のたいへんさも加わり収納率も少し下がりました。

議員 税源移譲された分は、交付税の算定上、収納率を100%にしなければ効果が出ないと思いがちですが、いかがですか。

当局 都市と地方では税収には差がありますが、交付税の算定上は公平と思われる。

総務費

政教分離の重要性を町民へ

議員 地区によっては、区の行政会計に神社会計が含まれていて、憲法上正しくないという町民からの指摘があります。どう思いますか。

当局 今後の地方自治の発

展と開かれた白鷹町を築いていくため、真摯に受けとめて対処していきます。

議員 政教分離は、町づくりのなかでどれだけ重要であるか、町民に訴えていく

必要があると思うのですが、必要があると思っております。必要があると思っております。



各種講演会の会場となる パワーセンター

労働費

職業訓練校の補助金問題

議員 職業訓練校の補助金などの問題がありました。長井高等職業訓練校の全容を伺います。

当局 長井市、白鷹町、飯豊町の一市二町で構成し、労働者の職業訓練を目的に、県と関連しながら、パソコンや左官・大工技術などの研修や実技の講習を行っています。

補助金などの使途不明の問題では、国も今後の在り方について議論の中にあることから、関心をもっているところではあります。

パワーセンターの予算編成

議員 勤労者福祉センター（パワーセンター）について、労働費のなかで処理するのは無理があると思いませんか。

当局 パワーセンターは、当時、労働省の外郭団体である雇用促進事業団が設置したという背景があり、予算の編成上、労働費のなか

にいられたという経過があります。

規制緩和により国から移譲され、現在は町の施設となつていきます。労働費のなかで計上すべきか、その他に予算計上すべきかについて、町民に分かりやすくしていきたいと思っております。

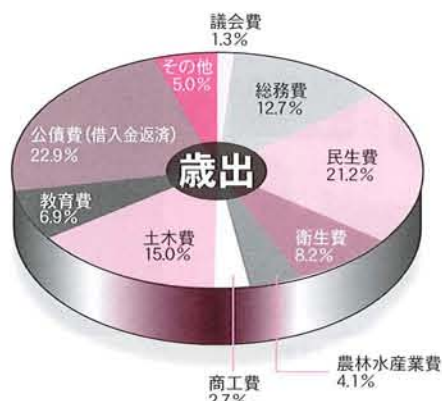
歳出

（町の支出）

平成19年度一般会計支出決算額一覧

歳出(町の支出)	決算額
議会費	8,958万円
総務費	8億9,934万円
民生費	15億576万円
衛生費	5億8,180万円
農林水産業費	2億9,284万円
商工費	1億8,896万円
土木費	10億6,648万円
教育費	4億9,236万円
公債費(借入金返済)	16億2,651万円
その他	3億5,318万円
合計	70億9,681万円

※万円未満は端数を整理しています。



平成19年度一般会計収入決算額一覧

歳入(町の収入)	決算額
町税	13億468万円
地方交付税	36億9,335万円
国庫支出金	3億8,247万円
県支出金	3億4,748万円
分担金・使用料	1億7,305万円
町債(借金)	4億9,680万円
その他	10億3,042万円
合計	74億2,825万円

※万円未満は端数を整理しています。

